

苗植え会

6月4日(水)、阿尾保育園で苗植え会が行われました。阿尾地区や北八代地区の老人会が解散したこともあり、今年は、園児の保護者の布施さんが苗植えの指導を行いました。

年長児は、ナス、キュウリ、トマト、枝豆、ラデッシュ等をプランターに植え、添え木をして水やりをしていました。その後、全園児がマルチシートの張ってある畑に移動し、棒で斜めに穴をあけ、その穴にサツマイモの苗を植えました。

園児たちは、指導者の言うことをしっかりと聞き、楽しそうに植えていました。子供たちは収穫に思いを馳せているようでした。



100歳体操でEスポーツ

毎週火・土曜日に、阿尾漁村センターで100歳体操を行っています。高齢者でも気軽にできるEスポーツ(ボウリング)を試してみました。コントローラを持って、テレビ画面に向かってボールを投球するまねをすると、画面上にはボールが転がっていき、ピンを倒します。面倒なスコアの記録は自動的につけてくれます。実際に行ってみました。若かりし頃を思い出し、夢中になってしまいました。



カローリングは楽しい



例年阿尾公民館祭りでやっているペタンクに替わる競技を只今検討中です。カローリングも候補の1つとして考えています。そこで、先日実施された窪公民館主催のカローリング大会を見学させていただきました。

窪小学校の体育館に地区住民約50名が集まり、大会が行われました。7コートで14チームが参加して1チーム2試合が行われました。過去にも数回大会を実施しているということもあり、試合がスムーズに進行していました。参加者の表情も実に楽しそうで会話も弾んでいました。阿尾地域でも年齢や体力に関係なくできるスポーツを楽しむ機会をもち、地域の繋がりも深めたいと考えています。実施の際には、ぜひご協力をお願いいたします。

* 公民館主事の独り言

「やりたいことができる私になる自分貯金」 有川真山美著 PHP研究所 参照

人生の終わりを迎えるとき、人が最も後悔することが5つあると言います。

①「自分に正直に生きればよかった。」②「働きすぎなければよかった」③自分の気持ちを伝えればよかった」④「友人と連絡を続けていればよかった」⑤「幸せをあきらめなければよかった」

自分が「やらなければ」と思い込んでいることの多くは、やらなくてもちっとも困らないこと。人生の時間で何をするか、自分が選んでいいのです。

仕事も家族との役割も「すべては自分のために、自分で選んでやっていること」と主体的に考えると、気持ちは軽くなり、前向きに行動できるのです。

迷ったときは、「どうすべきか」と頭で考えるのではなく、「どうしたらいいのか」と、「感情を」確認すればいいのです。

ただし、ここで注意しなければいけないのは、「快樂」と「幸福」を間違わないことです。

本当の幸福とは、「成長」と「満足」があることです。

○ 7月の講座案内

講座名	曜日	開設日	講師・責任者	時間	部屋
生け花 (池坊)	第1・3水曜日	2日 16日	西山栄津子	10:00～ 14:00	洋室
かな書道	第1・3月曜日	7日 21日	猶明 光華	13:00～	洋室
学童茶道& 百人一首	毎週木曜日	3日 10日 17日 24日 31日	学童支援員	15:00～	和室
手芸	第3火曜日	15日	伏木あい子	13:30～	和室
潮華会(新舞踊)	毎週土曜日	7日 14日 21日 28日	大野 朝子	19:00～	和室
潮月会(新舞踊)	毎週金曜日	5日 12日 19日 26日	大野 朝子	13:00～	和室
囲碁サロン	毎週月・水曜日	2日 7日 9日 14日 16日 21日 23日 28日 30日		13:30～	和室
フラダンス	第1・3月曜日	7日 21日	東軒みさ子	19:00～	和室
常磐会書道教室	第2・4土曜日	12日 26日	名苗 くみ子	10:00～	洋室

○阿尾公民館からのお知らせ

・ ふれあいランチ

阿尾地区…7月12日(土)、指崎地区…7月18日(金)

・ 阿尾公民館行事 …

よくばりウオーキング…7月26日(土) *今回は、土曜日です。

・詳細は別紙(チラシ)をご覧ください。

・参加費無料・カレー会食あり

○おらっちゃん風土記

今回は、「よくばりウオーキング」で訪問する2箇所を紹介します。

※パンフレット「氷見の文化財」参照

道神社拝殿 (県指定文化財 建造物)

道神社で祀る神は、「導ぎ」を司り、航海の安全を守る神です。おそらく元々のルーツは地元漁師の守護神として祀られたものだったでしょう。(観光情報ブログ「たのしみや.コム」より引用)

道神社は、江戸時代「大御堂」と称され、石動山と関係が深いと伝える猿田彦大神を祀る神社です。現在の拝殿は、明治7年(1874)神仏分離により、石動山天平寺の開山堂を移築したもので、現存する数少ない石動山信仰を伝える遺物の一つです。前口三間、奥行き二間の宝形造で、屋根は柿葺き、享和元年(1801)大窪村の藤岡弥右衛門が棟梁となり建立したもので、加賀藩の御用大工であった大窪大工の建築技術の高さを伝える建物です。



氷見市文化財センター

旧女良小学校校舎を転用し、氷見市立博物館が所蔵する漁撈用具や農具、生活用具などの民俗文化財のほか、市内の遺跡から出土した考古資料等を収蔵しています。

旧体育館では、国登録有形民俗文化財「氷見及び周辺地域の漁撈用具」に含まれる実物の和船や2分の1スケールで復元した定置網漁の網船「ドブネ」や県内の川舟を中心に展示しています。また、阿尾地区の遺跡からの出土遺物も見られます。

